

第6回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会
2015年6月13日(土)～14日(日)
@つくば国際会議場(茨城県つくば市)

ワークショップ 21	
タイトル	あなたの患者さんの旅行は安全ですか～デング熱予防もできますか
日時	6月13日(土) 16:20-18:40
企画責任者	中山 久仁子 (公募企画)
定員	48名
開催の目的・概要	
<p>【開催の目的】</p> <p>2014年はデング熱の国内発症が153例報告され、エボラ病がアフリカで流行した。海外に出かける日本人は年間170万人(2012年)にのぼり、臨床ではかかりつけの患者が海外に行くことを日常的に経験している。</p> <p>しかし、渡航に伴うリスクマネジメントを渡航者(患者)に提供している医療従事者は少なく、渡航者が渡航先で思わぬトラブルに巻き込まれていることが報告されている。プライマリケア従事者が、渡航者(患者)の渡航先での疾病を軽減・回避するために必要なリスクマネジメントを、適切に提供する能力を身に付けることを目的とする。</p> <p>【概要】</p> <p>渡航に伴う疾病・障害のリスクは、渡航先の国や地域の情報だけではなく、渡航者の活動目的によって異なる。当日は、どのような介入が有効かをについてショートレクチャーで概説し、具体的なリスクマネジメント・対処方法についてグループディスカッションやロールプレイで習得することを目指す。</p> <p>特に今回は、デング熱対策としての防蚊対策、エボラ病などの1類感染症流行地からの帰国者への対応についても触れる。</p>	